

2017 年度 小委員会活動成果報告

(2018 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	歴史的建築データベース小委員会	主 査 名：池上重康 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠委員会	委員長名：石田潤一郎 主 査 名：
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2019 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史的建築に関する各種情報の集約・管理。 ・ 日本建築学会編歴史的建築総目録データベースの管理・運営。 ・ 歴史的建築総目録データベースを媒体とした学会・行政・市民の協働。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：	
	主査：池上重康 (北海道大学) 幹事：玉田浩之 (大手前大学)、山崎幹泰 (金沢工業大学) 委員：石上隆達 (第一インターネットサービス)、亀井靖子 (日本大学)、金井健 (文化庁)、木方十根 (鹿児島大学)、清水隆宏 (岐阜高専)、永井康雄 (山形大学)、二村悟 (工学院大学)、水野僚子 (日本大学)、三宅拓也 (京都工芸繊維大学)、柳沢伸也 (やなぎさわ建築設計室)、山田由香里 (長崎総合科学大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2017 年度予算	170,000 円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス： https://glohb-aij.eng.hokudai.ac.jp/

項 目	自己評価
委員会開催数	2 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 主に、データベースコンテンツの充実を図った。 2. 「平常時及び災害時における歴史的建造物の調査及び情報共有等に関する協力協定」を日本建築家協会と締結し、日本建築士会連合会と更新した。 3. 文化庁委託「近現代建造物緊急重点調査事業」の調査の基礎台帳として活用するとともに、報告書用印刷書式を構築した。
委員会活動の問題点 ・課題	日本建築学会のメインサーバーが Amazon Web Service に移行したのに伴い、本データベースも近日中に同 AWS へ移行し、学会の管理下で運用したい。